

花粉の少ない森づくりを応援しよう！

# 森づくり 支援倶楽部 会報誌

vol. **44**

発行日 令和5年1月30日

## contents

- 01 ・ 企業の森
- 02 ・ 募金の報告
  - ・ 普及・PR活動
- 03 ・ 東京マラソンチャリティ
  - ・ NEWS
- 04 ・ 2022記念植樹イベントin御岳





# 「企業の森」

## 「企業の森」協定の締結

8月1日(月)にリコーリース株式会社と森林所有者、当財団の間で第37号「リコーリースグループ豊かな未来への森・企業の森(日の出)」の協定を締結しました。今後10年かけ、苗木の植栽、雑草の下刈りなど森づくりを進めていきます。



11月1日(火)にサトーホールディングス株式会社と森林所有者、当財団の間で「企業の森・あくなき創造の森(青梅柚木)」の協定がさらに10年間延長されました。今後、この延長協定に基づき除伐や間伐、枝打ちなどの森林施業について、ご支援をいただきながら、花粉の少ない森づくりを進めていきます。



### ・企業の森とは

森林所有者、協賛企業・団体、(公財) 東京都農林水産振興財団の三者が、森林整備に関する10年間の協定を締結し、協賛企業・団体には、花粉の少ない森づくり募金への協力と森林整備等相当分の寄付をお願いしています。協定期間中は、社員体験・研修の場として森林を利用していただけます。

## 「企業の森」イベント報告

### 企業の森・東栄住宅(青梅)

7月13日(水)42名の方が参加して枝打ち(根払い)作業をおこないました。枝打ちした森には太陽の光が良く入り、木々は元気に成長していくことでしょう。



### グリーンアークの森(梅郷)

9月13日(火)初めての活動となる開始式がおこなわれました。看板の除幕と記念植樹の後、花粉の少ないスギの苗木を植樹しました。真夏日という暑い中、参加した13名の方は汗をかきながらも、無事300本植えることが出来ました。



### 企業の森・三菱HCキャピタルグループの森(八王子市上恩方 鞍骨沢)

10月1日(土)32名の方が参加して下刈り作業をおこないました。皆さん元気よく力を合わせて無事作業を終えることができました。雑草が短く刈り込まれ、すっきりとした森になりました。



### 企業の森・SBSリコーロジスティクスグループ(御岳)

10月15日(土)36名の方が参加して下刈りとつる切りの作業をおこないました。鎌や手ノコなど使用し、生い茂った草やつるをきれいに刈り取りました。森がきれいになりました。



### 東芝府中・青梅の森

10月22日(土)30名の方が参加して下刈り作業をおこないました。手ノコや剪定ばさみなど使用しながらきれいに刈り取りました。これにより小さいスギの苗木が無事に成長していくことでしょう。



### リコーリースグループ豊かな未来への森・企業の森(日の出)

11月19日(土)初めての活動となる開始式をおこないました。記念植樹の後、お子様を含め27名の方が参加してコナラの苗木を180本植樹しました。今後の苗木の成長が楽しみです。





# 募金の報告

## 森づくり支援倶楽部への大口募金

4月28日(木)と10月31日(月)に公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団様、8月5日(金)に株式会社きらぼし銀行様より、花粉の少ない森づくり募金へ大口のご寄付をいただきました。各団体様には長年にわたりご支援をいただいております。ご協力に感謝申し上げます。いただきました募金は、多摩地域の森林伐採及び花粉の少ないスギへの植え替え等に活用いたします。



きらぼし銀行 贈呈式

# 普及・PR活動

## 東京農林水産フェア・秋の家畜ふれあいデー(青梅会場)に出展

10月22日(土)3年ぶりのリアル開催となる東京農林水産フェアが、東京都農林水産振興財団の立川庁舎と青梅庁舎の2会場で開かれました。「花粉の少ない森づくり運動」は青梅会場に出展。丸太伐りチャレンジのほか、多摩産材を使用したコマづくりやコースター絵付けを体験していただきました。たくさんのお子さんが木工体験を楽しみながら、木に親しんでいただきました。



## 花粉飛散時期PR活動

東京都農林水産振興財団では、「花粉の少ない森づくり」の周知とご理解をいただくため、毎年、スギやヒノキの花粉が多く飛散する時期に集中的にPR活動をおこなっています。年が明けてすぐの令和5年1月7日(土)には、高尾599ミュージアムでPRイベントを開催しました。初詣で高尾山を訪れた人々で賑わう中、多くの方に木工体験を楽しんでいただくと共に「花粉の少ない森づくり」を紹介しました。このほかにも都内各所でPRブースの設置やポスター掲出などをおこなってまいります。



## LINE公式アカウントを 開設しました

お友だち登録をいただいた方にイベント情報を定期的に配信していきます。いろいろとお得がいっぱい! お友だち登録しませんか?



お友だち登録はこちら



## 「企業の森」かわら版No.7を発行

もっと多くの方に東京の森を理解していただくため、「企業の森」へ参加する企業・団体の取り組みをはじめ、四季折々で咲く花の様子など、日々、「企業の森」を見回って見てきた出来事を記事にしています。No.7の秋・冬号では企業の森でみつけた花や虫、そしてコケの道などを紹介します。



No.7 秋・冬号



かわら版はこちら

## YouTube公開中 「東京森づくりチャンネル」

花粉の少ない森づくり運動で開設しているYouTube「東京森づくりチャンネル」。ふだん見ることのできない東京の森での植樹や下刈りなどの作業の様子をはじめ林業作業者の仕事ぶりや苦労などをお伝えしていますのでご視聴ください。



チャンネル登録よろしくお願ひします!

# 東京マラソンチャリティの報告

## 東京レガシーハーフマラソン2022チャリティ

“もうひとつの東京マラソンはじまる。”をテーマに、今年初開催となった東京レガシーハーフマラソン 2022。秋晴れとなった10月16日(土)の大会当日、発着点となる国立競技場には、およそ15,000人のランナーが集結。当財団へご寄付をいただいたチャリティランナーも出走しました。「花粉の少ない森づくり運動」のスタッフは、チャリティランナー専用のチャリティラウンジで、「お疲れさま」と掛け声をかけながらフィニッシュしてきたチャリティランナーをお迎え。記念品のオリジナルTシャツとトートバッグ、そして多摩産材で作られた記念木工品を手渡ししながら皆さんと交流を深めました。



### (公財)東京都農林水産振興財団は東京レガシーハーフマラソン2022チャリティの寄付先団体です

25の寄付先事業(団体)のひとつとして、「花粉の少ない森づくり運動」へ多くの方からご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。いただきましたご寄付は花粉の少ないスギなどに植え替える森づくりに役立てていきます。



東京レガシーハーフマラソン2022  
チャリティ 公式ウェブサイト

<https://legacyhalf.tokyo/charity/index.html>

■ 寄付総件数:29名 ■ 寄付金総額:2,915,000円



### 東京マラソン2023チャリティ

令和5年3月5日(日)に開催予定の東京マラソン2023の寄付先団体として引き続き活動をしています。今回も多くの方からご寄付をいただき誠にありがとうございます。EXPO大会当日は私どもスタッフも応援に駆けつける予定です。ランナーの皆さまにお会いできることを楽しみにしております。



東京マラソン2023チャリティ  
公式ウェブサイト

<https://www.marathon.tokyo/2023/charity/>

■ 寄付総件数:24名 ■ 寄付金総額:2,324,000円



## NEWS

### WOOD COLLECTION 2022

#### 『JAPAN ReWOOD』へ行ってきました

8月24日(水)~26日(金)東京都は国産木材の価値再発見と普及に向けて、日本各地の川上の事業者と首都圏の川下の事業者のマッチングを推進する、国産木材に特化した展示商談会を開催しました。会場となったのは港区の東京都立産業貿易センター浜松町館2階展示会場。東京都と日本各地の19の自治体が連携し、約70の企業・団体が出展、建築資材や家具、雑貨など多彩な国産木材と出会える場となりました。



和歌山県熊野産のヒノキを使った「熊野の恵み」。部屋や匂いの気になる靴箱や靴の中に入れて消臭、抗菌、吸湿材として使用。ヒノキが持つ吸湿、消臭などの効果により嫌な匂いを防ぎます。



ウッドデザイン賞を受賞したこともある徳島県那賀町の「木粉簡易トイレ」。スギの強みである消臭性、吸水性、抗菌性を生かし、環境にも優しい簡易トイレです。



国内で人気が沸騰しているサウナがこちらの会場にもありました。(株)フォレスト西川のバレルサウナ。サウナ発祥の地フィンランドに古くから伝わる、樽型の形状をしたサウナルームです。多摩産材ヒノキを使用し、定員は4名。自宅や別荘など、手軽に設置することができるサウナでリフレッシュしてみてください。



細田木材工業のスギ材を使用した木製ホワイトボード「きえずぎくん」。木材の持つ優しさは、教室やオフィスが温もりのある空間に変わると大変好評なんだそうです。実際にマジックで書いてみても、普通のホワイトボードと変わらず滑らかに書け、消すのもラクラクでした。

### 多摩産材利用拡大フェア2022 へ行ってきました

11月16日(水)・17日(木)新宿NSビルにて多摩産材利用拡大フェアが開催されました。多摩産の木々を製材する業者、建材の加工処理を行う業者、建築・内装の業者、家具・什器・木工品等の製造業者など、多摩産材製品を提供する業者・団体が一堂に会する展示会です。今年度から新たにセミナーもおこなわれ、写真などでより詳しく多摩産材や活用事例が紹介されるなど、一般の来場者にとっても充分に楽しめる展示会でした。



# 2022記念植樹イベントin御岳の報告



開催日:令和4年11月26日(土) 参加人数:22名

今年度の植樹イベントには、22名の方にご参加いただきました。当日は不安定な空模様でしたが1日を通して雨に降られることもなく、予定どおりイベントを無事終了することができました。東京での森づくりを体験してもらおうと同時に、紅葉時期の多摩の自然を存分に楽しんでいただきました。参加した皆さんからは「小さな子どもでも参加でき、大変勉強になりました」とか、「植樹体験は初めての経験でしたが、森林について知ることができました」など、花粉の少ない森づくりや森林循環について、知っていただく良い機会となりました。

集合場所はJR青梅線の河辺駅。本年度も車内や室内でのマスク着用をお願いと検温を実施しました。バスでは間隔を開けて乗車していただき出発、青梅市御岳の植樹地に向かいました。



## 午前のプログラム 植樹体験

今年は青梅市御岳の山での植樹体験となりました。東京都森林組合の指導員から、林業でよく使われる丈夫なトンガ(唐クワ)を使った苗木の植え方を教わった後、実際に自分たちでも花粉の少ないスギの苗木を植樹。使い慣れないトンガに苦労している姿も見られる中、小さなお子様も大人に負けじと頑張り、見事、300本の苗木を植えることができました。自分たちの手で1本1本大切に植えた花粉の少ないスギの苗木、すくすくと育っていくといいですね。



植樹体験の後は、青梅市御岳交流センターに移動してお待ちかねの昼食となりました。多摩川の河原で食べる人や交流センターのテラスで食べる親子など、皆さん思い思いの場所で食事。紅葉を眺めながら地場産野菜を使ったボリューム満点のお弁当を堪能しました。



## 午後のプログラム 紅葉ウォーキング&森林ストレッチ

紅葉が美しい御岳付近の多摩川沿いを散策しました。ガイドからトレッキングポールを使った歩き方やストレッチを教わったり、東京の森づくりの話などを聞きながら、深まる秋の紅葉を楽しみました。

## 午後のプログラム トレイルランニングツアー

そうがくさん  
標高756mの惣岳山まで急な山道をトレランしました。経験豊富なガイドに山を走るコツを教わりながら山頂へ。途中、森づくりの話なども聞きながら約6kmの山道を皆さん軽快に走破して多摩の山を満喫しました。



紅葉の中を散策



トレッキングポールを使ったストレッチ



山道を軽快にトレラン



当財団が管理する広大な森づくりの現場



# 花粉の少ない 森づくり運動



育てます豊かな食とみどりの東京  
公益財団法人 **東京都農林水産振興財団**  
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎3階

TEL : 0428-20-8153

Email : moridukuri@tdfaff.com

HP : <https://moridukuri.tokyo/>



(公財)東京都農林水産振興財団は、  
SGEC森林管理認証による環境に配慮した  
森林管理を実施しています。

月1回、花粉の少ない森づくりに関する  
メールマガジン(無料)を配信中です。  
是非、右のQRコードから登録を!

